

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
大学、研究機関、企業など経済ネットワークの会員									
手段（事務事業の内容、やり方）									
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
例会などを通して参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	193	199	190	200
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	7	4	6	4
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数	人	306	168	150	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	204	368	223	111
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,068	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	3,310	3,436	4,075	3,972

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 江別経済ネットワーク例会の開催 セラミックス交流会の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 江別経済ネットワーク講師謝礼 56千円 江別経済ネットワーク例会会場費 35千円 セラミックス交流会活動経費 20千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、イベント、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
対象指標 2	商店街組合数	件	8	7	8	7
活動指標 1	補助金額	千円	2,971	4,469	4,660	3,930
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数（ハード事業）	件	4	1	4	1
成果指標 2	補助金の活用件数（ソフト事業）	件	17	14	17	14
事業費 (A)		千円	2,971	4,469	4,660	3,930
正職員人件費 (B)		千円	3,106	3,068	3,081	3,089
総事業費 (A+B)		千円	6,077	7,537	7,741	7,019

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。 ・商店街の建築協定に基づき、れんが・れんがタイル等を店舗外観に使用し、景観向上による商店街の活性化に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業活性化事業補助金 3,600千円 ・商店街建築協定推進事業補助金 330千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：経済活動広報事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化			
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化			
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援			
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民及び市外在住者
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業等を紹介する記事をフリーペーパーに掲載する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内の産業や企業等を紹介することで、江別の産業等の魅力に対する認識を広げる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	市外在住者	人	0	0	0	0
活動指標 1	年間発行回数	回	6	9	8	1
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	6	9	12	6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	900	900	4,230	3,348
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	2,453	3,201	8,082	7,209

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	フリーペーパーの作成及び配布	フリーペーパーの作成及び配布 3,348千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	平成30年度については、フリーペーパー「JPO1エリア江別市」の反響が大きいことから、企業紹介に関する情報等の周知媒体を「JPO1エリア江別市」に一本化して実施する。		減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持	○		
新規		低下			
休止 廃止 その他					

事業名：食を軸とした地場産品販路拡大支援事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて商談会や催事への企業出展を促す。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
対象指標 2						
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	5	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	30	34	30	34
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,785	448	553	586
正職員人件費 (B)		千円	1,941	4,602	3,081	6,178
総事業費 (A+B)		千円	3,726	5,050	3,634	6,764

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングテスト販売（地下歩行空間ほか） 商談会（札幌、東京） 江別産品試食評価相談会開催（江別市民会館） 江別産品フェア（東京都区内） 	<ul style="list-style-type: none"> 商談会（北海道産品取引商談会、インフォメーションバザール） 298千円 江別産品試食評価相談会開催経費 111千円 江別産品フェア開催経費（道内、道外） 173千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により地域住民や学生など多様な主体がコミュニティビジネスなどの活動を商店街で始められるよう促す。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成するため、セミナー参加者を増やし参入の促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民		119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	4	4	2	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	50	57	50	50
成果指標 2	参入相談件数	件	4	0	2	2
事業費 (A)		千円	337	293	500	300
正職員人件費 (B)		千円	1,553	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	1,890	2,594	2,811	2,617

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	コミュニティ活動啓発セミナーの開催（先進事例や実例紹介、補助金制度の紹介）	コミュニティ活動啓発セミナー開催に係る委託経費 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。 									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	野幌商店街		1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	3,200	4,000	0
成果指標 1	相談件数	件	137	119	70	70
成果指標 2	誘致件数	件	0	1	1	0
事業費 (A)		千円	4,944	7,207	6,454	2,454
正職員人件費 (B)		千円	1,941	3,835	3,852	3,861
総事業費 (A+B)		千円	6,885	11,042	10,306	6,315

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設	・コーディネーター委託費 2,454千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）計画に取り組む組織・機関・団体等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 食の高付加価値化 食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等 海外市場の開拓 海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施 食のまちPR 首都圏企業等へのフード特区事業PR 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	89	88	89	88
対象指標 2						
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	6,227	7,172	7,600	9,000
活動指標 2	補助金額	千円	6,691	6,562	7,000	7,000
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	1	2	1	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	14,537	11,546	12,531	13,747
正職員人件費 (B)		千円	7,764	7,671	7,703	7,722
総事業費 (A+B)		千円	22,301	19,217	20,234	21,469

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 機能性食品開発を支援する補助金を交付 海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付 海外催事出展のほか外国人観光客向けの情報発信、海外向け商品の研究や国際認証取得等に向けたワークショップの開催 フード特区の取組を首都圏企業等にPR 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 2,834千円 機能性食品開発支援補助金 6,500千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,850千円 フード特区広報事業 1,600千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	【海外市場開拓支援事業】 ・これまでの海外催事出展に加え、外国人観光客向けの情報発信、海外向け商品の研究や国際認証取得等に向けたワークショップを開催 【フード特区広報事業】 ・東京でのイベント開催だけではなく、年間を通して広く情報を発信	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市において立地等（新規立地・増設・設備更新）を検討している企業	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金が交付されることを掲示 対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター 種類：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額 ②雇用補助金…新規雇用者に対して市内居住者20万円（障がい者は20万円加算）、市外居住者10万円 ③下水道使用料補助金…各月当たり500㎡を超える部分の年間使用料の1/2 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内へ企業が立地する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	補助金交付企業数	社	2	5	8	9
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	28,795	55,846	88,572	83,814
活動指標2						
成果指標1	補助金認定件数（累計）	件	24	27	30	32
成果指標2						
事業費(A)		千円	28,795	55,846	88,572	83,814
正職員人件費(B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861
総事業費(A+B)		千円	32,677	59,681	92,424	87,675

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	立地等した企業への補助金 83,814千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外企業・事業所を江別市へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	企業・事業所数	社	397,735	427,227	397,735	427,227
対象指標 2						
活動指標 1	企業との接触数（訪問、来訪、イベント等）	社	126	186	100	100
活動指標 2	誘致関係機関との接触数（官公庁、団体）	社	0	37	10	10
成果指標 1	立地企業・事業所数（土地・建物の賃借による操業を含む）	社	1	2	4	4
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,740	1,479	1,516	1,982
正職員人件費 (B)		千円	15,528	15,340	15,406	15,444
総事業費 (A+B)		千円	17,268	16,819	16,922	17,426

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に係る情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 ・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 540千円 ・企業誘致パンフレット増刷 432千円 ・企業訪問、イベント出展に係る旅費 912千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果							
対象（誰、何に対して事業を行うのか）							
市内農業者及び市民							
手段（事務事業の内容、やり方）							
〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回							
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							
農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。							

指標・事業費の推移							
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算	
対象指標1	市内農業者	人	924	924	924	924	
対象指標2	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979	
活動指標1	補助金額（小麦関係）	千円	2,079	1,889	867	2,129	
活動指標2	精液購入等補助金額	千円	640	690	750	750	
成果指標1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2	
成果指標2							
事業費(A)		千円	3,090	2,579	1,617	2,879	
正職員人件費(B)		千円	3,882	3,835	3,852	3,861	
総事業費(A+B)		千円	6,972	6,414	5,469	6,740	

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 小麦生産団体への補助 和牛生産団体への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 2,129千円 黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		向上			
見直し		維持			○
新規		低下			
休止					

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化		
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内農業者及び市民
手段（事務事業の内容、やり方）	「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標2	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
活動指標1	イベント開催回数	回	16	14	20	20
活動指標2	各部会等開催回数	回	20	11	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	528,866	526,212	529,000	529,000
成果指標2	イベント参加者の満足度	%	90	100	80	80
事業費 (A)		千円	992	1,647	1,800	1,600
正職員人件費 (B)		千円	5,047	5,369	5,392	5,405
総事業費 (A+B)		千円	6,039	7,016	7,192	7,005

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：直売所スタンプラリー開催、直売所マップ作成、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会開催、収穫体験バスツアー開催、加工品フェア開催など） 6次産業化支援のための農業者等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への補助 900千円 農畜産物加工新商品開発等支援補助 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内農業者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されたテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内農業者	人	0	924	924	924
対象指標 2	市民	人	0	119,250	119,250	118,979
活動指標 1	協力隊員数	人	0	1	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	0	0	1,100	1,100
成果指標 2	交流センター利用者数	人	0	0	16,100	16,100
事業費 (A)		千円	0	2,371	2,929	2,529
正職員人件費 (B)		千円	0	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	0	3,138	3,699	3,301

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬 2,280千円 ・活動用車両維持費 201千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援					
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
就職を希望している女性	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就職に有効な接遇やパソコン操作などの技能を習得するための研修を実施する。 ②企業実習により女性の就職や就職後の定着を支援する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
働きたいと考える女性が就職もしくは再就職できるよう、課題を解決する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	37,369	36,808	36,756	34,645
対象指標 2	ハローワーク江別管内女性有効求職登録者数	人	0	1,081	1,081	1,081
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	5	8	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	110	117	100	96
成果指標 2	就職者数	人	45	49	50	50
事業費 (A)		千円	25,045	21,813	21,048	18,574
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	27,374	24,114	24,129	22,435

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業（就職に向けた座学研修及び実務研修）の実施 ハローワーク共催セミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業（就職に向けた座学研修及び実務研修）の実施委託 18,441千円 ハローワーク共催セミナー実施に係る託児経費等 133千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名： 障害者就労相談支援事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	障がい者及びその家族並びに企業
手段（事務事業の内容、やり方）	就労や障害福祉サービスの利用等を含む就労全般に係る相談を受ける相談支援員を配置し、また、相談者・家族・事業主等への就労継続のアドバイスや職業巡回を行う定着支援員を配置することで相談支援体制を確保する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	障がい者及び家族が就労に関する悩みを相談し、支援を受けることで、就労が可能となり自立した社会生活を営むことができるようになる。 また、障がい者雇用を希望したり、現に雇用している企業の相談や支援を行うことで、障がい者の雇用の場を確保し、継続した就労を可能にする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	障がい者数	人	8,700	8,652	8,700	8,652
対象指標 2						
活動指標 1	相談開設日数	日	160	243	243	244
活動指標 2						
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	503	988	720	876
成果指標 2	一般就労件数（平成28年度から）	件	0	8	10	10
事業費 (A)		千円	6,058	9,088	9,159	9,159
正職員人件費 (B)		千円	3,106	4,602	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	9,164	13,690	11,470	11,476

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	就労相談支援及び定着支援を委託により実施	委託料 9,159円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市内大学（短大含む）の在学生 市内大学（短大含む） 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 市内大学の学生を市の各部署に受け入れ、8月から10月までのうち、実働30日間の就業体験実習を実施する。 各職場での実習のほか、江別市政の理解を深めるため、市の職員を講師として市の財政状況や議会のしくみ等を学ぶ共通実習や、市の特色や魅力を知るための市内見学を実施する。 実習の締めくくりとして、実習を通して得られた成果や自身の意識変化などを発表する実習報告会を開催する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内大学の在学生数	人	10,047	9,753	9,573	9,493
対象指標 2	市内大学数（短大含む）	校	5	5	5	5
活動指標 1	インターンシップ参加大学数	校	4	3	5	5
活動指標 2	インターンシップ参加学生数	人	10	8	10	10
成果指標 1	将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	%	100	87.5	100	100
成果指標 2	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	107	93	413	392
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,436	2,394	2,724	2,709

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 各配属部署において公務に従事する職業体験の実施 市政の理解を促進するための共通実習の実施 実習生が実習の成果を発表する実習報告会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 受入れ旅費（通勤費用対応） 350千円 公務出張旅費 42千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上		
		維持		
		低下		

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援					
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>市内大学の学生を対象に有給インターンシップ事業への登録学生を募り、登録した学生に対して、基礎・応用研修と企業へのインターンシップを実施する。インターンシップは、原則、1事業所、最長1年間を上限に実施し、インターンシップ中は、賃金相当額を受入企業が負担する。その他、拠点施設を設置することで、施設内で研修や、企業等と学生の交流会等を実施する。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。 ②学生に市内企業を知ってもらう機会を増やすことにより、市内企業への就職意欲を高める。</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	9,991	9,722	9,991	9,991
対象指標 2	市内事業所数	所	3,468	3,468	3,468	3,468
活動指標 1	有給インターンシップ新規登録者数	人	55	49	50	60
活動指標 2	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	社	91	75	50	60
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	40	45	45	55
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	11,364	11,251	13,056	13,093
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	13,693	13,552	16,137	16,954

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップ事業の運営 ・市内大学・高校の就職状況調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・有給インターンシップ事業の運営委託 13,079千円 ・市内大学・高校の就職状況調査経費 14千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課参事（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内高校の生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
高校生のインターンシップに対する支援（研修実施） 就職希望者に対する面接指導・研修 企業交流会の実施	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
高校生に対し、適切な進路・職業を選択するための職業観の醸成、および進路や職業に就くための知識の習得を支援する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	4,135	4,116	4,135	4,135
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	146	181	146	181
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	271	272	180	272
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	11	13	10	13
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	91	93	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	95	86	100	100
事業費 (A)		千円	2,500	2,500	2,500	2,402
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	4,829	4,801	4,811	4,719

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> 高校生インターンシップに対する事前研修の実施 就職希望者に対する面接指導・研修の実施 企業交流会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施委託 2,402千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつ <small>の</small> 将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グレシャム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	0	119,250	119,250	118,979
対象指標 2	観光入込客数	人	0	1,046,102	926,114	1,046,102
活動指標 1	営業日数	日	0	363	359	359
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	42,250	25,000	42,250
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	16,296	3,750	16,296
事業費 (A)		千円	0	8,224	8,650	8,577
正職員人件費 (B)		千円	0	1,918	3,081	3,861
総事業費 (A+B)		千円	0	10,142	11,731	12,438

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営委託料：8,195千円 チョークアート制作委託料：150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標2						
活動指標1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	6
活動指標2						
成果指標1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	181,600	174,638	180,000	174,638
成果指標2	主要観光施設観光入込客数	人	239,800	434,444	430,000	434,444
事業費(A)		千円	3,118	4,877	6,524	6,978
正職員人件費(B)		千円	3,106	3,835	4,622	6,178
総事業費(A+B)		千円	6,224	8,712	11,146	13,156

30年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） さっぽろ広域観光圏推進事業 ノハナショウブ保存活用事業 江別の魅力発信MAP作成事業 江別市リアル謎解きゲーム事業 地域おこし協力隊 ものづくりワークショップ事業（他事業より移管） 	<ul style="list-style-type: none"> ドライブコースご当地ナビ事業（JAF） 36千円 さっぽろ広域観光圏推進事業 500千円 ノハナショウブ保存活用事業 500千円 江別の魅力発信MAP作成事業 555千円 江別市リアル謎解きゲーム事業 1,800千円 地域おこし協力隊 2,792千円 ものづくりワークショップ事業 775千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：観光振興計画推進事業

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	平成30年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市外の人									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						
活動指標 1	委託料	千円	0	6,891	13,950	15,950
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	0	3	3	3
成果指標 1	観光入込客数	人	0	1,046,102	926,114	1,046,102
成果指標 2	計画策定数	計画	0	0	1	0
事業費 (A)		千円	0	6,929	14,000	16,000
正職員人件費 (B)		千円	0	3,835	4,622	5,405
総事業費 (A+B)		千円	0	10,764	18,622	21,405

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	日帰り周遊型観光商品開発 観光人材育成セミナーの開催 観光振興計画の推進体制の検討	観光振興計画推進事業委託料 15,950千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
30年度への改善方向性	交流人口の増加や産業振興を目的とした観光振興計画を平成29年度に策定したため、基本施策の実現に向け、日帰り周遊型観光商品開発等の実施や推進体制の検討を行う。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止 その他					

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課参事（商店街・観光振興）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	② 観光資源のパッケージ化				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別観光協会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
観光パンフレットの発行やホームページなどによる観光情報の提供、ボランティアガイド等の事業により観光振興を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	189	205	196	213
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,784	2,643	2,940	2,672
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	9	8	8	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,784	2,643	2,940	2,672
正職員人件費 (B)		千円	3,882	1,534	4,622	1,544
総事業費 (A+B)		千円	5,666	4,177	7,562	4,216

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別観光協会事業への補助金交付 観光パンフレット「えべつコレクション」の作成や観光協会ホームページの運営、観光名刺の作成や市内外の各種イベント参加による特産品PR、ボランティアガイドによる見学会など	・観光宣伝物資製作費（パンフレット等） 1,785千円 ・えべつPR費（イベント、広告、ホームページ等） 746千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			